

# I. 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1)調査時点 2020年4月1日  
(2)調査対象期間 2020年1月～3月期の実績および2020年4月～6月期の見通しについて調査した。

## 2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

## 3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業+食品業部会	30社	17社	56.7%
水産業部会	30社	19社	63.3%
機械工業部会	30社	13社	43.3%
建設業部会	30社	17社	56.7%
観光・サービス業+諸業部会	30社	22社	73.3%
合計	150社	88件	58.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

## Ⅱ. 概況

－業況はコロナウイルスの影響で全業種大幅な悪化。来期は更に悪化の見込み－

### 1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(2020年1月～3月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比で▲43.7**と前回調査時の▲2.7より**41.0ポイントの大幅な悪化**となりました。

部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業 [前年 DI 値▲25.0→**今期▲41.2**]、水産業 [前年 DI 値▲40.0→**今期▲38.9**]、機械工業 [前年 DI 値▲33.3→**今期▲53.8**]、建設業 [前年 DI 値▲27.8→**今期▲29.4**]、観光サービス・諸業 [前年 DI 値 0.0→**今期▲54.5**] となりました。

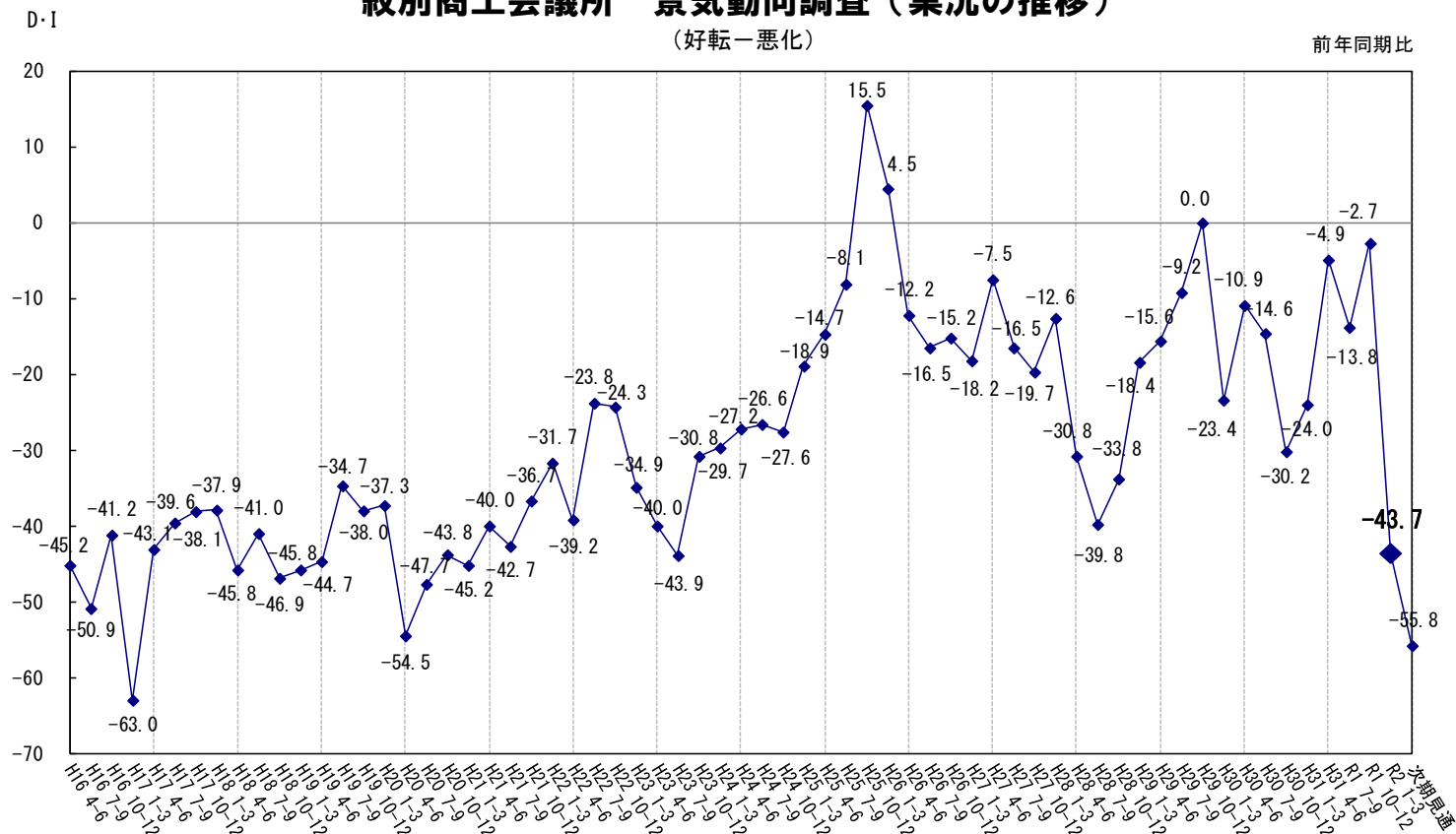
今回の調査では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、歓送迎会や多くのイベントが中止となり、飲食店や会場となるホテルを中心に大きな打撃を受けました。2月28日には全国でいち早く鈴木北海道知事が緊急事態宣言を発令し、感染拡大を食い止めるため、不要不急の外出の自粛を促した事をきっかけに他の産業へも影響は広がりました。感染者がいち早く確認された中国の工場がストップした事で流通が停滞し、マスクなどの衛生製品や建築現場の部品不足が発生した他、海外渡航が制限されことから、外国人労働者の入国が出来ず、生産活動が動き出す時期にもかかわらず、人手不足により作業が滞っているとの声も寄せられています。

**次期(2020年4月～6月)**については、**業況判断DI(次期見通し▲55.8)**は**12.1ポイント悪化**の予測となっており、全業種で今期と比較して悪化する見通しとなっています。

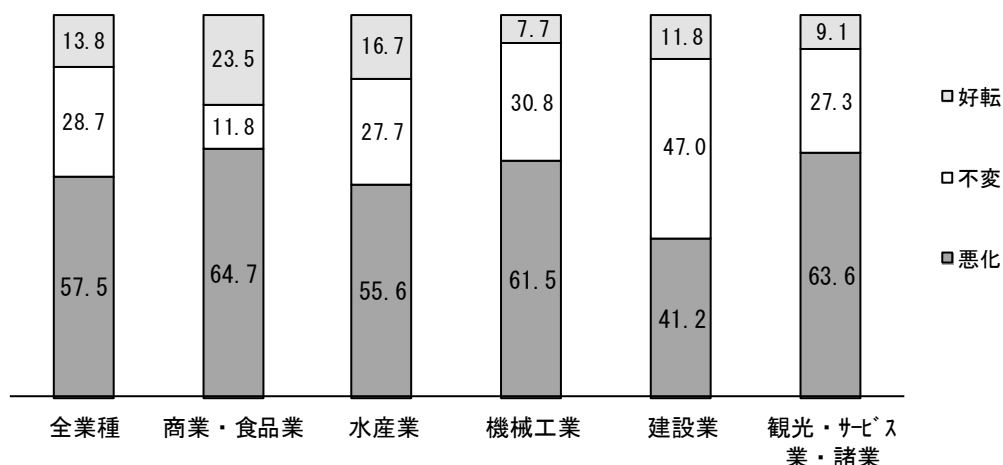
国の緊急事態宣言の発令により、更なる活動等の自粛や休業要請等、経済活動への影響は計り知れないものがあります。国、北海道、紋別市と様々な支援策が打ち出されていますが、支援金等を受ける為には複雑な要件や書類整備が必要となり、申請に苦慮される方も見受けられます。

当所としましても、日々更新される各種制度の情報収集を行い、来所される皆様の感染リスク低減につとめながら、融資や各種申請の支援を行ってまいります。

### 紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)



### 今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、「需要の停滞」「従業員の確保難」を訴える声が多く寄せられています。

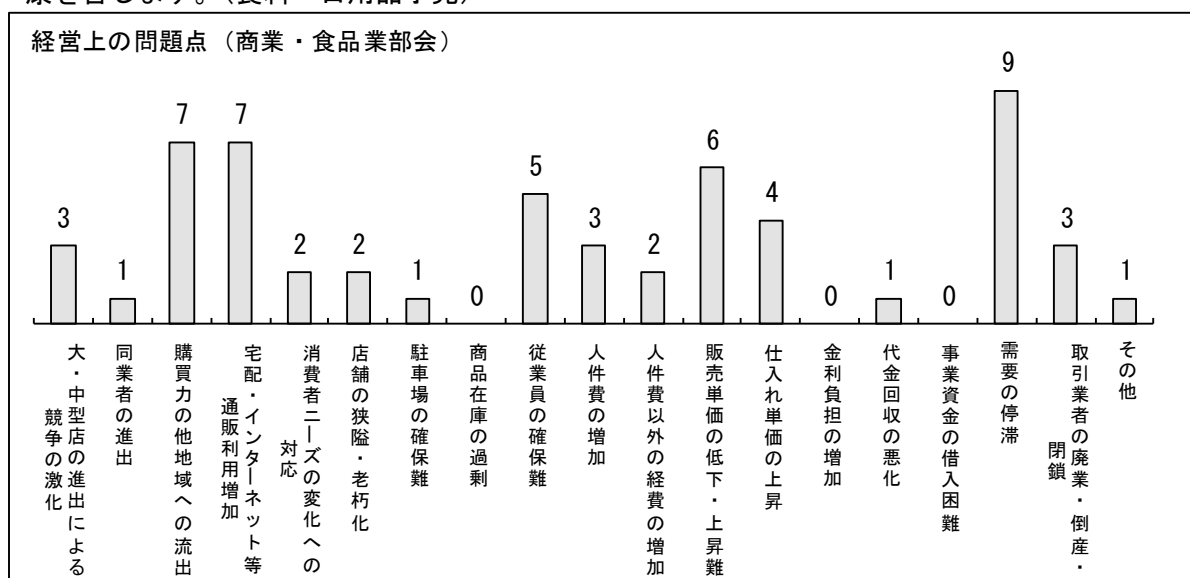
### ■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲41.2（前年DI値▲25.0、来期見通し▲64.7）〕

業況DI値（前年同期比）は、16.2ポイントの悪化となりました。新型コロナウイルスの影響で入学式や卒業式への保護者の参加が規制された事による保護者の衣料品販売が落ち込み、外出自粛に伴い土産品やスポーツ用品の販売にも影響が出た他、学校の休校に伴う給食用の食材の納入がなくなった事により売上げが減少したとの声が寄せられています。一方で、自粛生活により自宅での時間が増えた事による食費の増加やマスクや消毒液といった衛生施品を取り扱う業種では業況が好調であった様子がうかがえます。次期見通しは、コロナウイルスの終息時期が見えない事から更に悪化の予測となっています。経営上の問題点としては、「需要の停滞」「購買力の他地域への流出」「宅配・インターネット等通販利用増加」を訴える声が多くなっています。

### 《業界の問題点等》

- ・卸先との取引が激減 3月はほぼゼロ。観光関連業種への影響は大きく、長期化の恐れがあり。先の見通しが立たない。（土産物小売）
- ・営業時間を短くしたいが出来ないこと。（食料・日用品小売）
- ・保存のきく食品には、添加物が大量に含まれます。安売り品ばかりに消費マインドが向くと健康を害します。（食料・日用品小売）

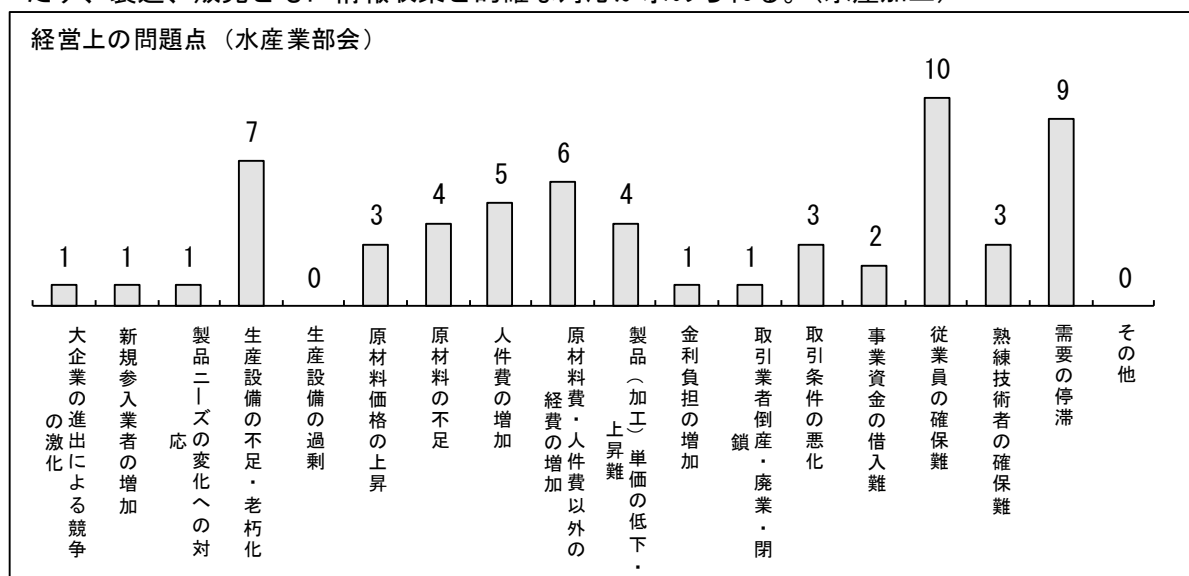


【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲38.9（前年DI値▲40.0、来期見通し▲44.5）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、唯一わずかに回復となりましたが、依然として大きなマイナスの値となっています。今年は流氷が20年振りの勢力となり、沖合の滞在期間も長く、ここ数年だと既に水揚げの始まる時期にも関わらず出漁できず、仕事にならないと話す加工業者の方もいました。また、全国的に外食の自粛が浸透していることから、魚介類の消費が落ち込んでいる他、中国を中心とした諸外国へ製品を輸出できず、在庫過大を懸念しています。この他、現在では重要な労働力となっている外国人実習生が入国予定日前に入国規制となってしまった事から、工場の稼働までに間に合わず、予定の業務を処理する事ができないとの悲痛な声も出ています。経営上の問題点としては「従業員の確保難」と「需要の停滞」を訴える声が多く寄せられております。来期は、再び悪化見通しとなっています。

《業界の問題点等》

- ・コロナ（水産加工）
- ・外国人のビザがおりないので、生産性が上がらない。（人員不足）中国輸出の不透明度合い。（水産加工）
- ・輸出相手国の工場可動への自粛規制による操業の縮小、停止により、輸出は停滞状態にあり、長期間する様であれば国内販売への切替も考慮。（水産加工）
- ・世界的な新型コロナウイルス感染拡大による国内外の消費動向、市況、製品需要の見通しが立たず、製造、販売ともに情報収集と的確な対応が求められる。（水産加工）

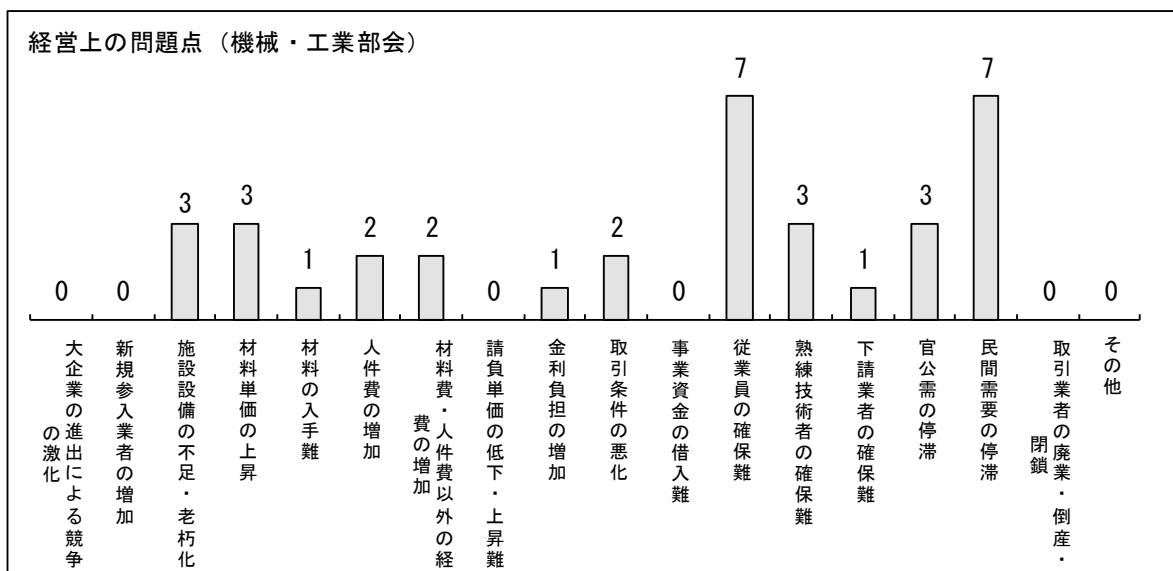


【機械工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲53.8（前年DI値▲33.3、来期見通し▲61.5）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年比20.5ポイントの悪化となりました。一部自動車の修理販売や鉄工業関係では前年と大きな差はなかったものの、イベントや会議等の中止による資料やチラシ等の印刷の受注減少や、流氷の長期滞留により水産業の動き出しがやや遅れたことによる水産資材の受注にも影響があった事など、新型コロナウイルスの影響に限らず業況が悪化しました。他の業種では新型コロナウイルスの影響が出ていることから、今後徐々に影響が出てくる可能性が危惧されます。来期の業況見通しは更に悪化する予想となっています。経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「従業員の確保難」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・注文の減少（製材業）
- ・紙はコロナの影響は少ないが、ユーザーに左右される部分大きい。（紙製品製造・販売）
- ・前年同期に比べたら今期は官公民間の需要がかなりの落ち込みです。コロナウイルスのせいかもしれません？（室内装飾製造）
- ・従業員不足（鉄工業）
- ・ブローカーの出現による値段の下落。（印刷業）

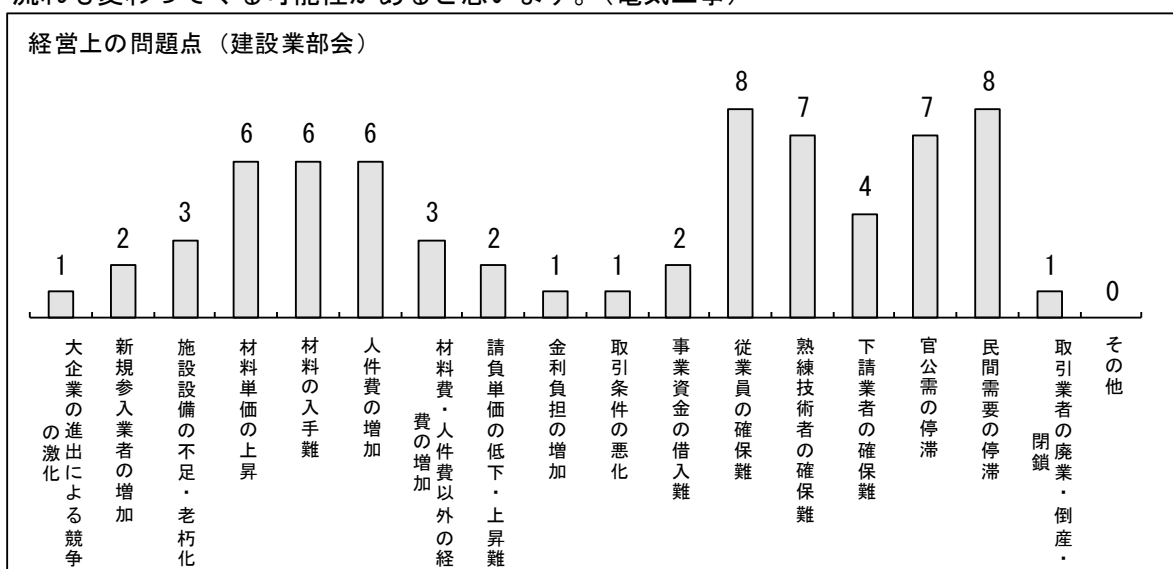


【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲29.4（前年DI値▲27.8、来期見通し▲37.5）〕

業況判断DI値（前年同期比）は1.6ポイント僅かに悪化となりました。一部建築工事業や電気工事業で「好転」の回答が寄せられたことから、業況の悪化幅が抑えられました。建築関係からは、中国製の水回り等の部品が入荷できず、新築住宅の工事が滞っており、引き渡しが出来ないといった声も寄せられています。次期見通しは、悪化する予測となっています。経営上の問題点としては「従業員の確保難」「民間需要の停滞」「熟練技術者の確保難」「官公需の停滞」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・コロナウイルスの影響が出てきている。（室内装飾）
- ・今はまだ大丈夫だが、このコロナで輸入品もあるので、今後が心配です。それに衣って工事の流れも変わってくる可能性があると思います。（電気工事）

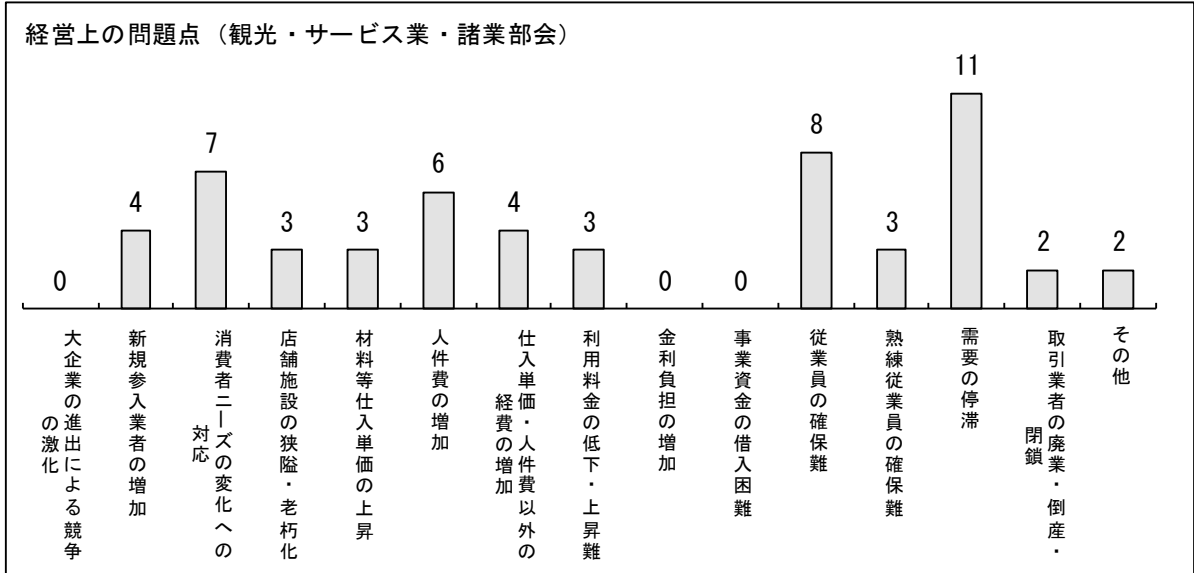


【観光サービス業・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲54.5（前年DI値0.0、来期見通し▲68.2）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年の0.0から54.5ポイントの大幅悪化となりました。およそ20年振りの流氷の当たり年となったにもかかわらず、コロナウイルスの感染拡大を受け、国内外の観光客がほぼ皆無となった他、新年会や送別会も軒並み中止となったことから、宿泊業や飲食業、観光バス等に甚大な影響をもたらしました。一方で、酪農関連や測量設計等は業況が好転しているとの回答も寄せられました。経営上の問題点としては、コロナウイルスの影響で「需要の停滞」が最も多く、次いで「従業員の確保難」「消費者ニーズの変化への対応」を訴える声が多くなっています。来期も更に悪化の見通しとなっています。

《業界の問題点等》

- ・コロナウイルスの影響が大（飲食業）
- ・コロナ（理容業）
- ・コロナで予測不能。（飲食業）
- ・人口減少による利用者不足、コロナの影響による利用者、人員不足等。（旅客運送業）
- ・外出自粛による売上げの悪化。コロナウイルス感染拡大リスク（クリーニング）
- ・法の改正が著しく、提出書類が多く難しすぎるため、本来の業務ができない。（介護事業）



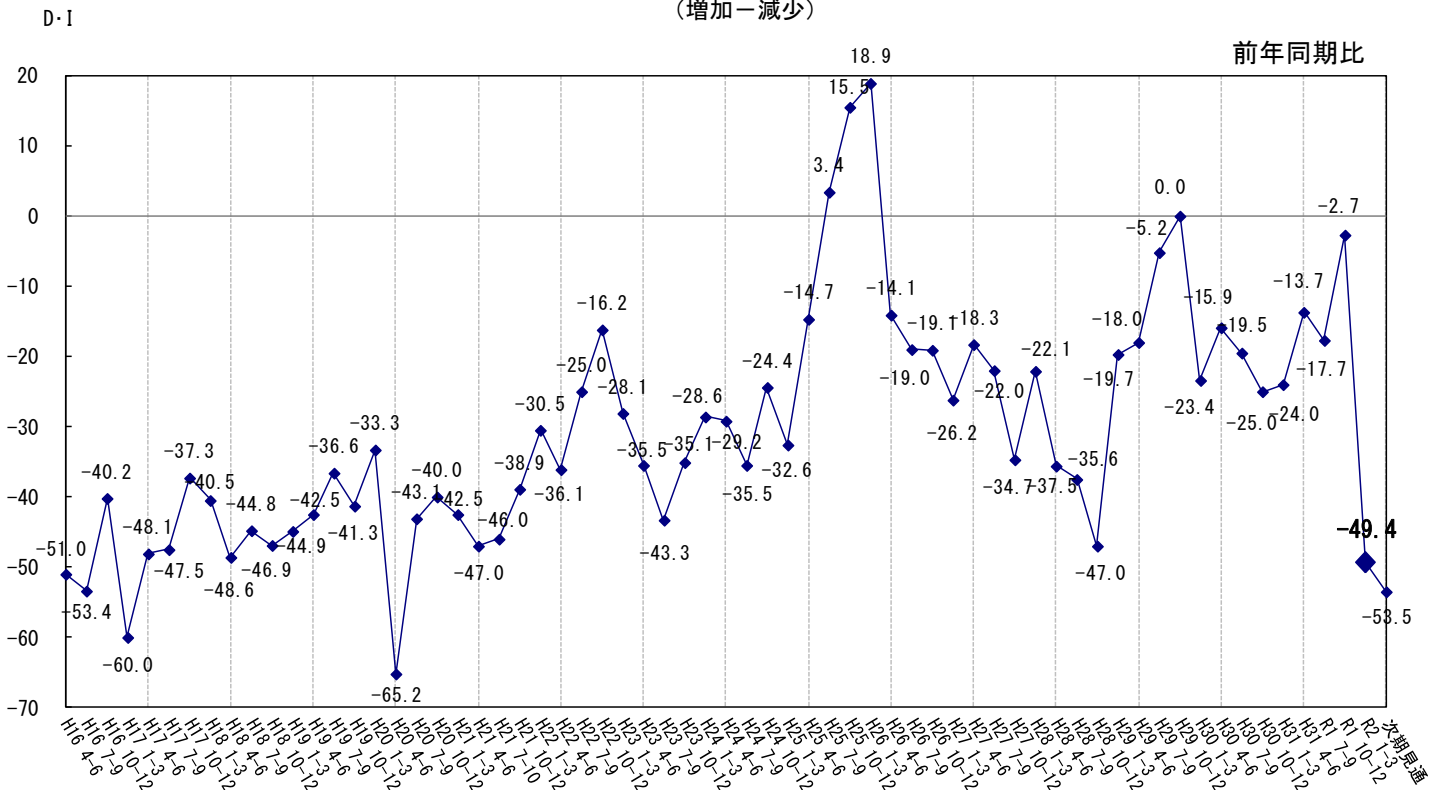
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

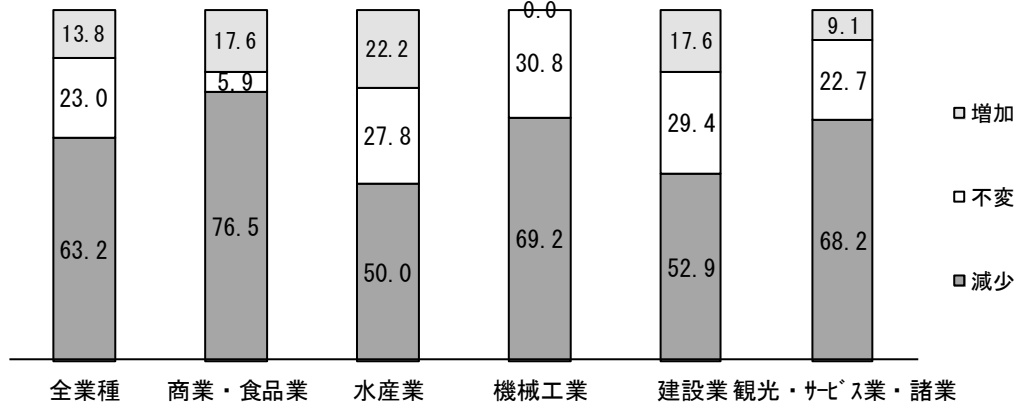
【前年同期比】（平成31年1月～3月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高・生産高推移（全業種平均D・I）

（増加－減少）



### 今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値▲49.4〔前回調査時（令和元年10～12月期▲2.7）より46.7ポイント悪化〕  
全業種で悪化。特に商業・食品業、機械工業、観光サービス業・諸業は大幅な悪化。

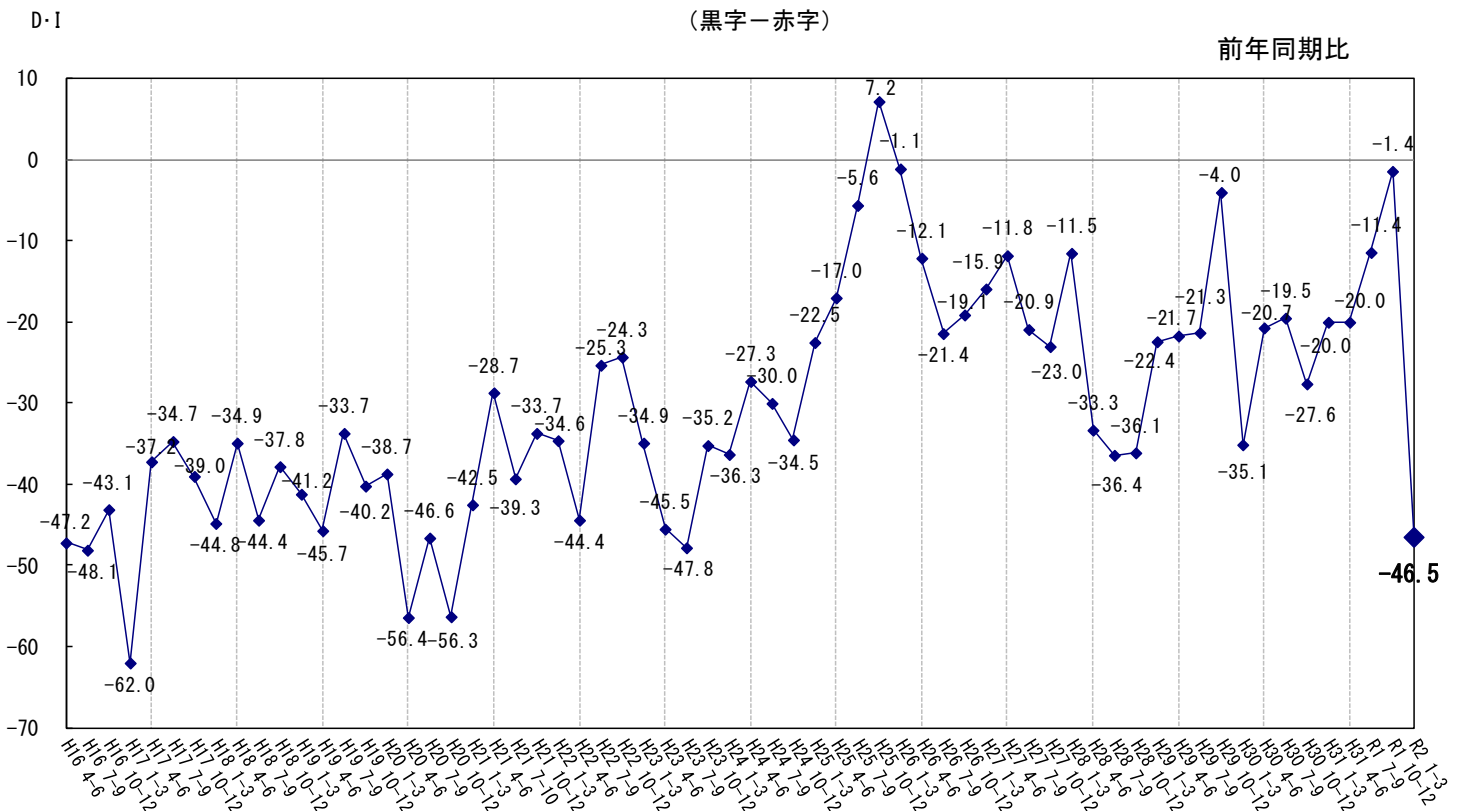
[部会別DI値] 商業・食品業〔前年▲25.0→▲55.8〕、水産業〔前年▲26.7→▲27.8〕  
機械工業〔前年▲16.7→▲69.2〕、建設業〔前年▲33.3→▲35.3〕  
観光・サービス業・諸業〔前年▲16.7→▲59.1〕

### (2) 今期の採算

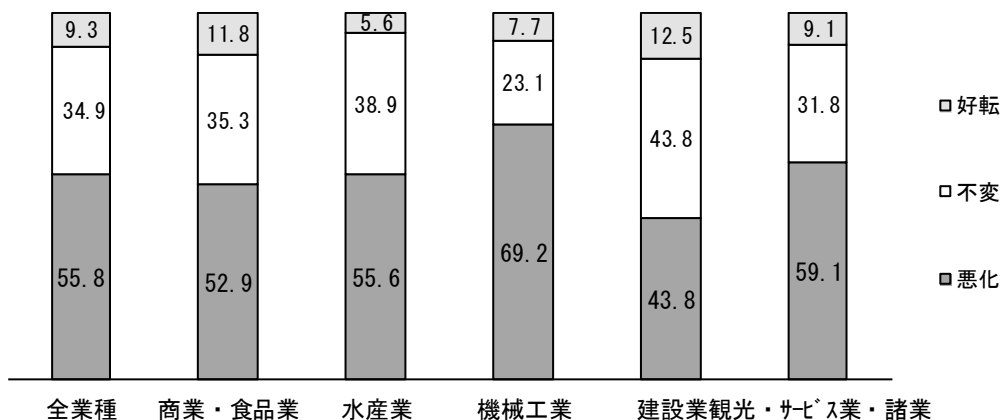
【前年同期比】（平成31年1月～3月期の水準と比較した今期の採算水準）

### 採算推移（全業種平均D・I）

（黒字－赤字）



### 今期の採算（前年同期比）

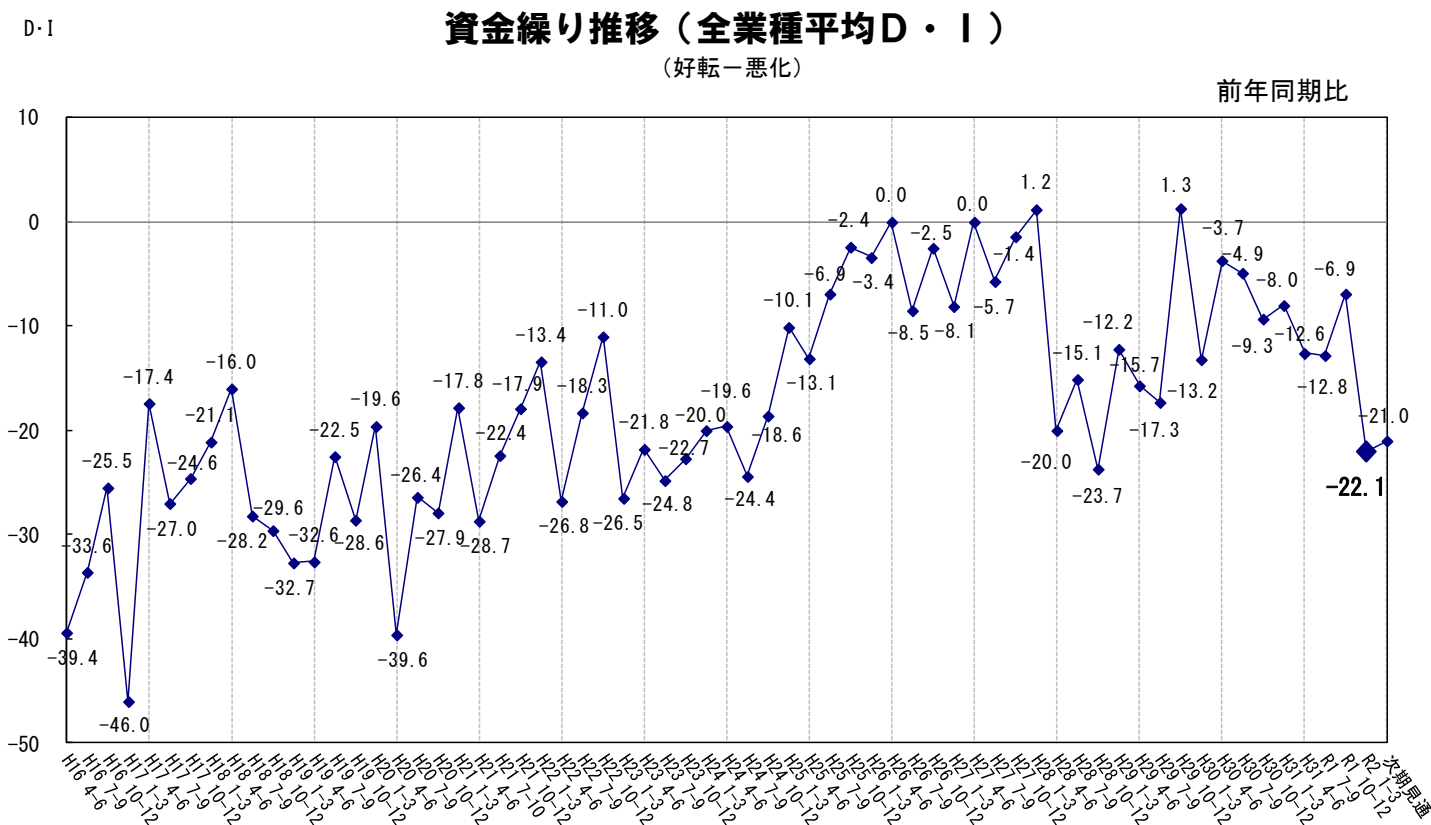


全業種平均でDI値▲46.5〔前回調査時（令和元年10～12月期▲1.4）より45.1ポイント回復〕  
建設業は44.2ポイントの大幅な悪化。その他の業種は好転。

[部会別DI値] 商業・食品業〔前年8.3→▲41.1〕、水産業〔前年▲20.0→▲50.0〕  
機械工業〔前年▲41.7→▲61.5〕、建設業〔前年▲38.9→▲31.3〕  
観光・サービス業・諸業〔前年▲39.5→▲50.0〕

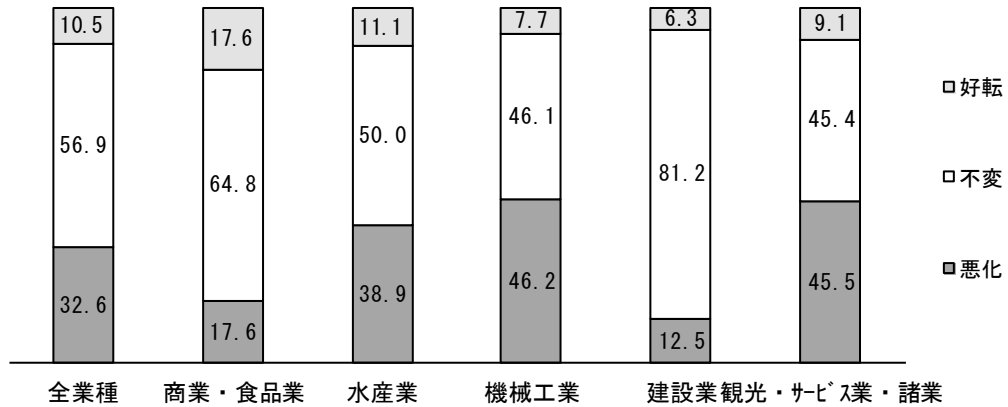
### (3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成31年1月～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）





### 今期の資金繰り（前年同期比）



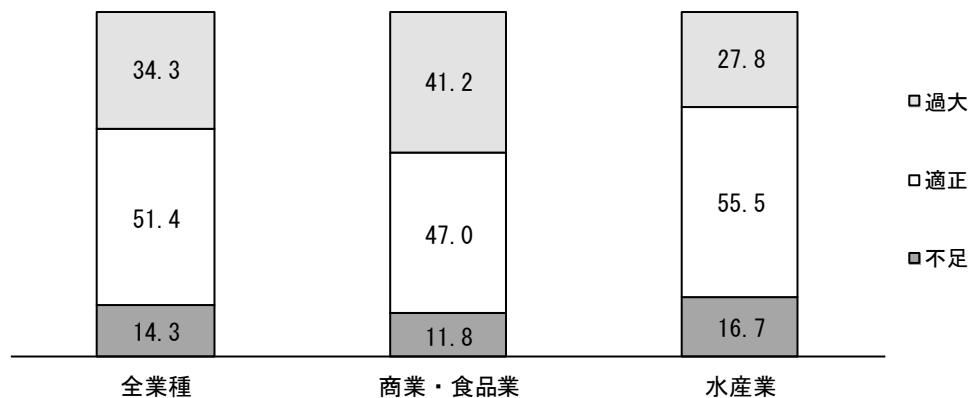
全業種平均でDI値▲22.1〔前回調査時（令和元年10～12月期▲6.9）より15.2ポイント悪化〕  
水産業、機械工業、観光サービス業・諸業で大幅な悪化。

[部会別DI値] 商業・食品業〔前年0.0→0.0〕、水産業〔前年▲6.7→▲27.8〕  
機械工業〔前年▲16.7→▲38.5〕、建設業〔前年▲11.1→▲6.3〕  
観光・サービス業・諸業〔前年▲5.6→▲36.4〕

### (4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成31年1月～3月期の水準と比較した今期の在庫水準）

### 今期の在庫水準（前年同期比）

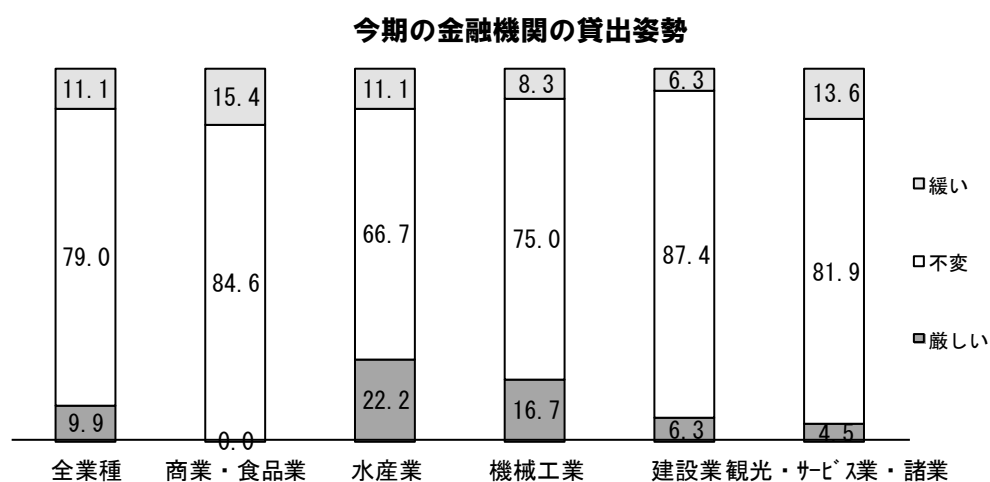


全業種平均でDI値20.0〔前回調査時（令和元年10～12月期▲3.6）より16.4ポイント在庫過大〕

[部会別DI値] 商業・食品業〔前年▲16.7→29.4〕、水産業〔前年▲53.3→11.1〕

## (5) 今期の金融機関の貸出姿勢

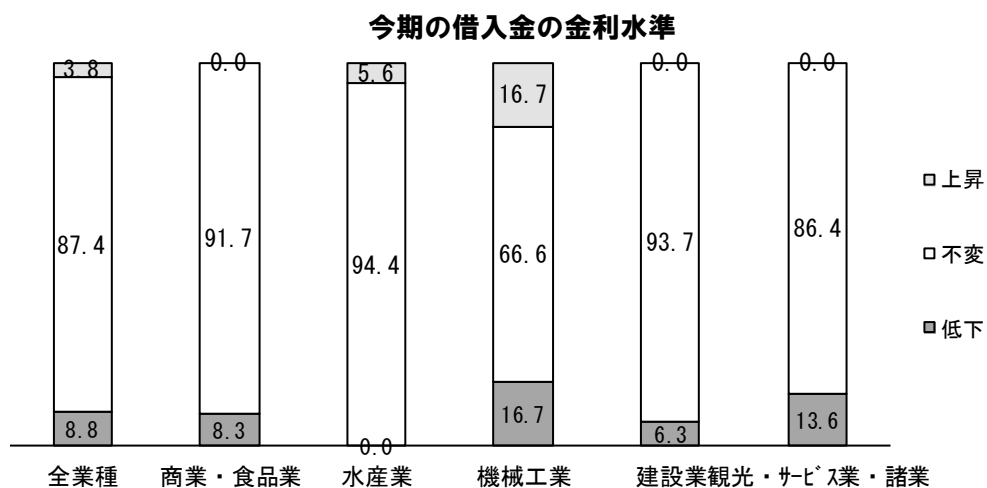
【前年同期比】（平成31年1月～3月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）



全業種平均で1.2ポイント。商業食品業15.4、水産業▲11.1、機械工業▲8.3、建設業0.0、観光・サービス業・諸業9.1

## (6) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（平成31年1月～3月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

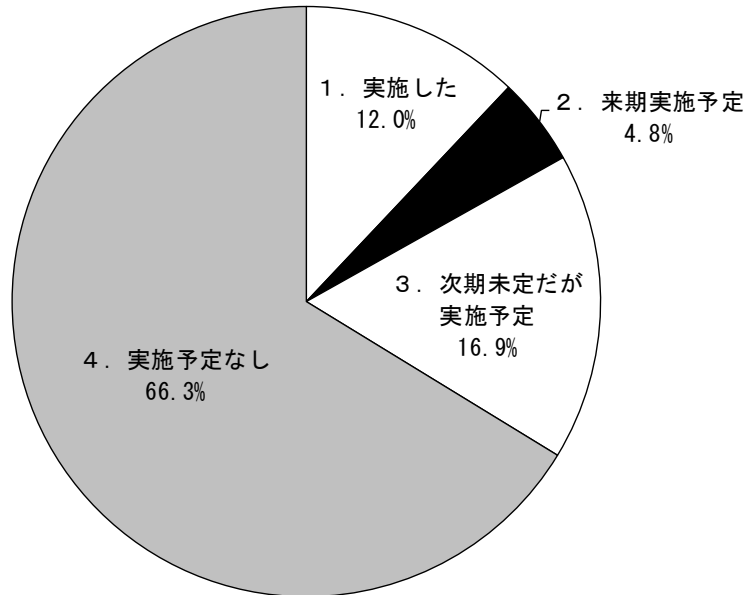


全業種平均で▲5.0。商業食品業▲8.3、水産業5.6、機械工業0.0、建設業▲6.3、観光・サービス業・諸業▲13.6

## (7) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

設備投資の実施状況

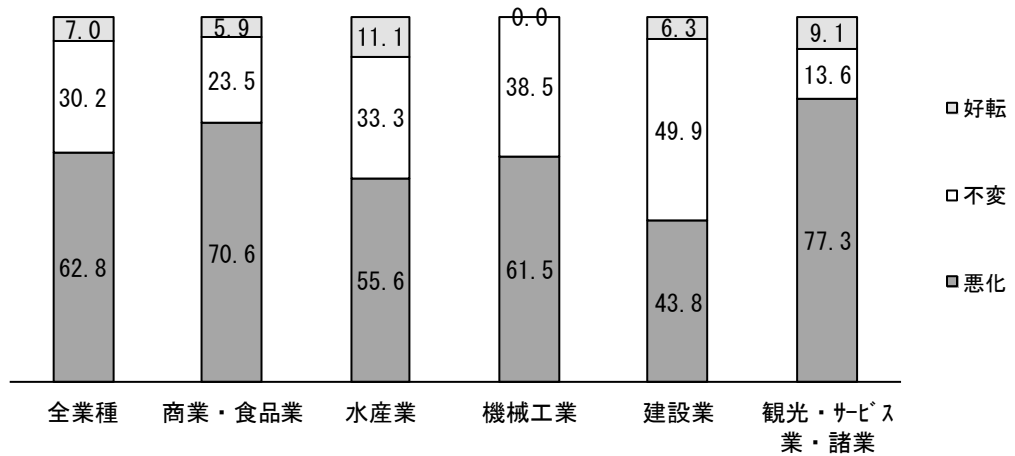


### 3. 来期の見通し

#### (1) 来期の業況

【今期比】（令和2年1月～3月期の水準と比較した来期の業況見通し）

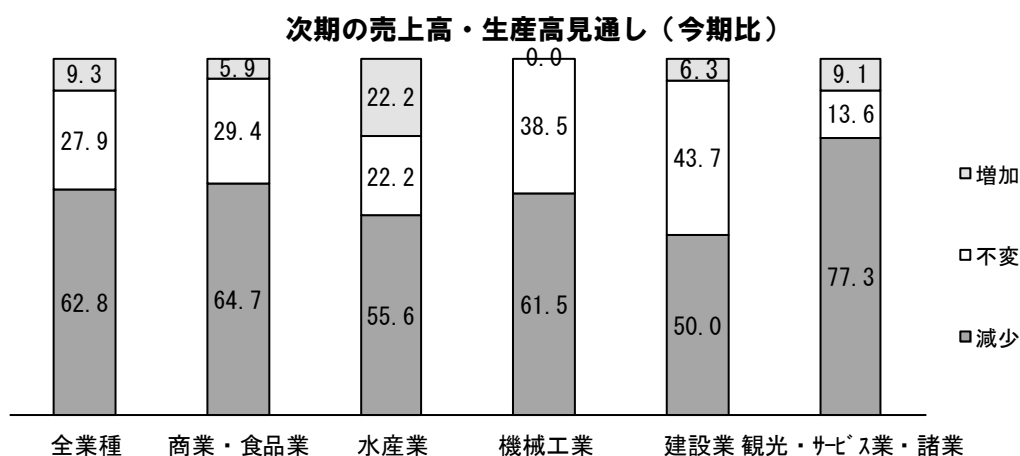
次期の業況見通し（今期比）



全業種平均DI値▲55.8 [今期の業況（前年同期比▲43.7）より12.1ポイント悪化の見通し]

## (2) 来期の売上高・生産高

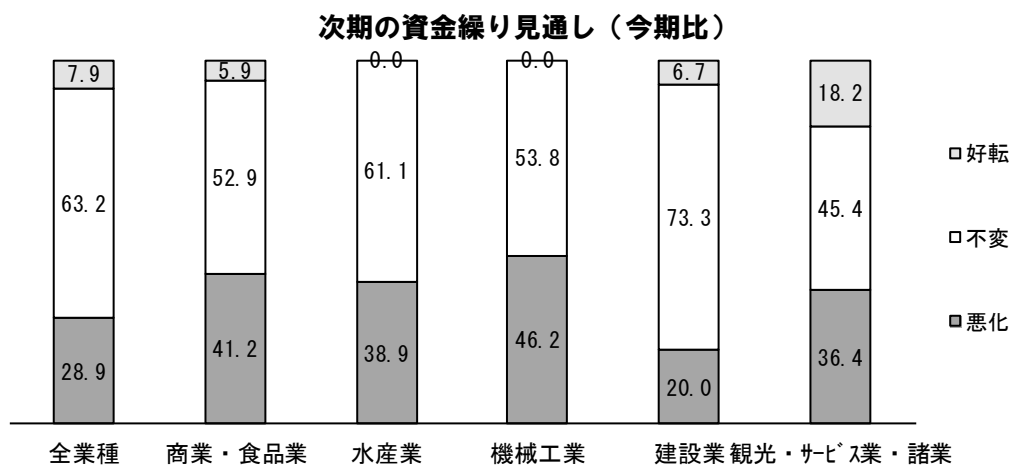
【今期比】（令和2年1月～3月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均 DI 値▲53.5 [今期の売上高・生産高（前年同期比▲49.4）より 4.1 ポイント悪化の見通し]

## (3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（令和2年1月～3月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均 DI 値 ▲21.0 [今期の資金繰り（前年同期比▲22.1）より 1.1 ポイントわずかに悪化の見通し]

### Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食品業	水産業	機械工業	建設業	観光サービス業 ・ 諸業
業況判断 D・I	今期実績	▲43.7	▲41.2	▲38.9	▲53.8	▲29.4	▲54.5
	来期見通し	▲55.8	▲64.7	▲44.5	▲61.5	▲37.5	▲38.2
売上・生産 D・I	今期実績	▲49.4	▲58.8	▲27.8	▲69.2	▲35.3	▲59.1
	来期見通し	▲53.5	▲58.8	▲33.4	▲61.5	▲43.8	▲68.2
在 庫 D・I	今期実績	20.0	29.4	11.1	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今期実績	▲46.5	▲41.1	▲50.0	▲61.5	▲31.3	▲50.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲22.1	0.0	▲27.8	▲38.5	▲6.3	▲36.4
	来期見通し	▲21.0	▲35.3	▲38.9	▲46.2	▲13.3	▲18.2
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	1.2	15.4	▲11.1	▲8.3	0.0	9.1
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	▲5.0	▲8.3	5.6	0.0	▲6.3	▲13.6
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。

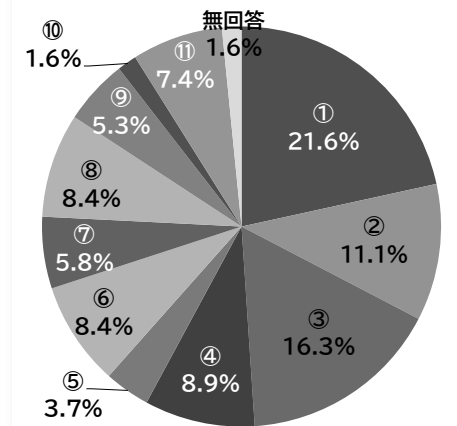
## IV. 新型コロナウイルス感染症にかかる影響等について

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が全世界的に感染の拡大を続ける中、北海道では2月28日に「緊急事態宣言」を発令される等、各地で更なる感染拡大を防止する為、イベントや会議、集会等が中止され、会場や公共交通機関、宿泊施設、飲食店ではキャンセルが相次ぎ、各方面で大きな影響が出てきています。

そこで、今回は新型コロナウイルスによる経営への影響等について調査を行いました。

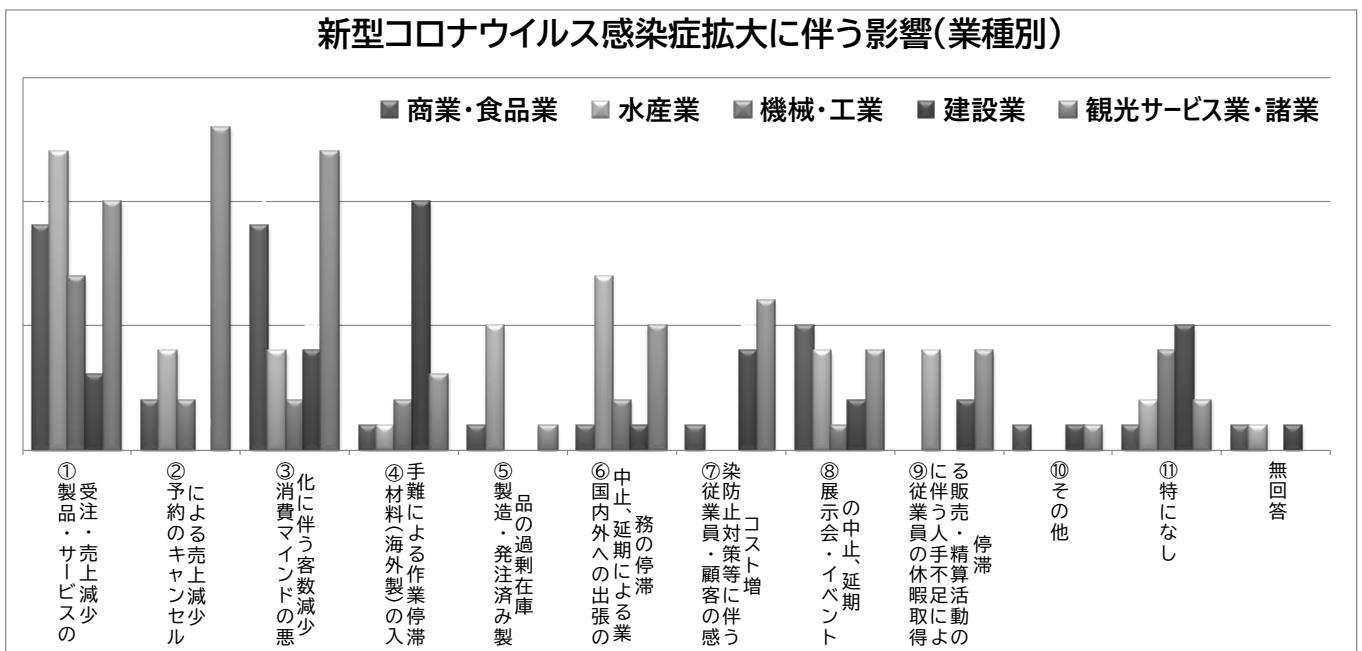
新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響は、全業種で見ると「製品・サービスの受注・売上減少（21.6%）」が最も多く、次いで「消費マインドの悪化に伴う客数減少（16.3%）」、「予約のキャンセルによる売上減少（11.1%）」となりました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響【全業種】

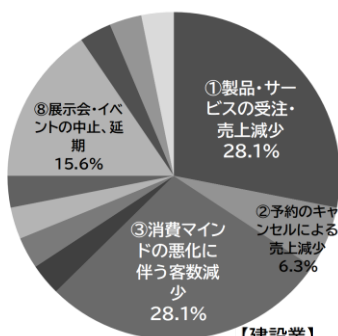


※①～⑪は、下記の業種別の項目と同じ

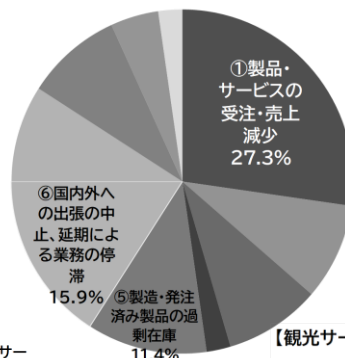
### 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響(業種別)



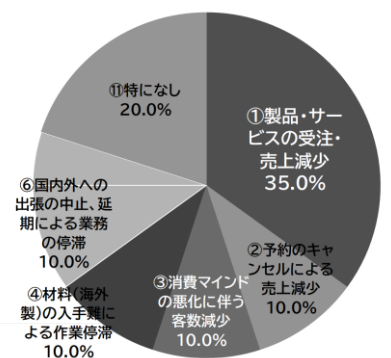
【商業・食品業】



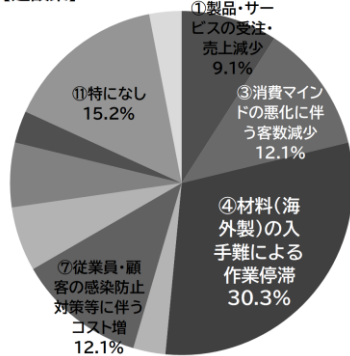
【水産業】



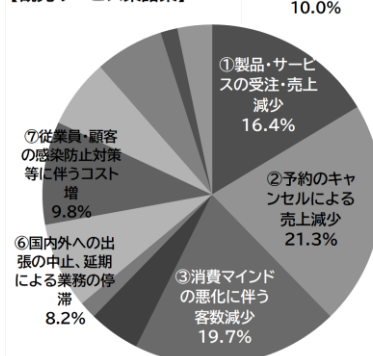
【機械・工業】



【建設業】



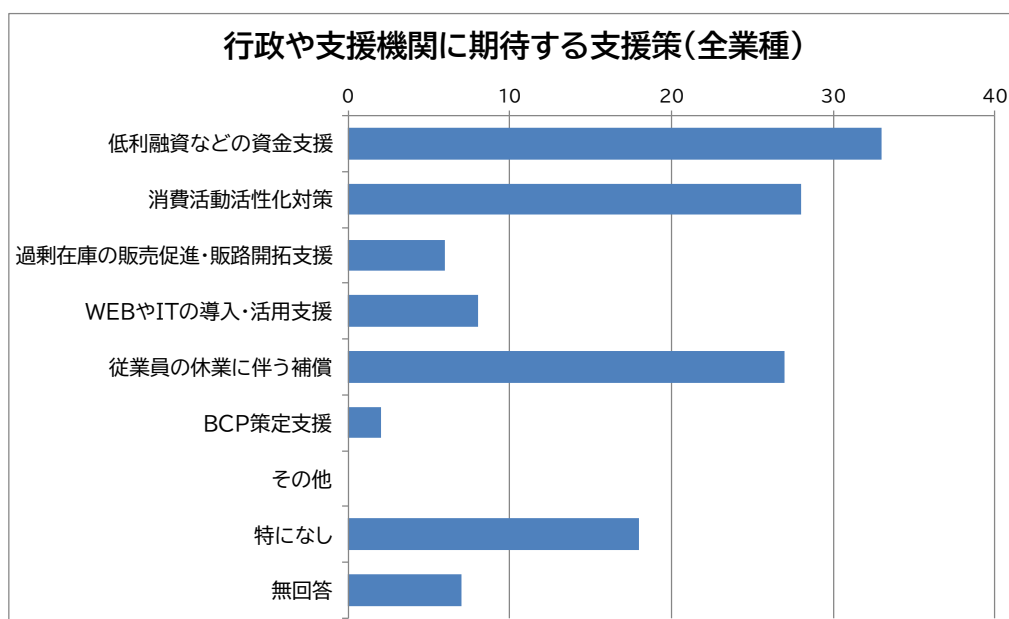
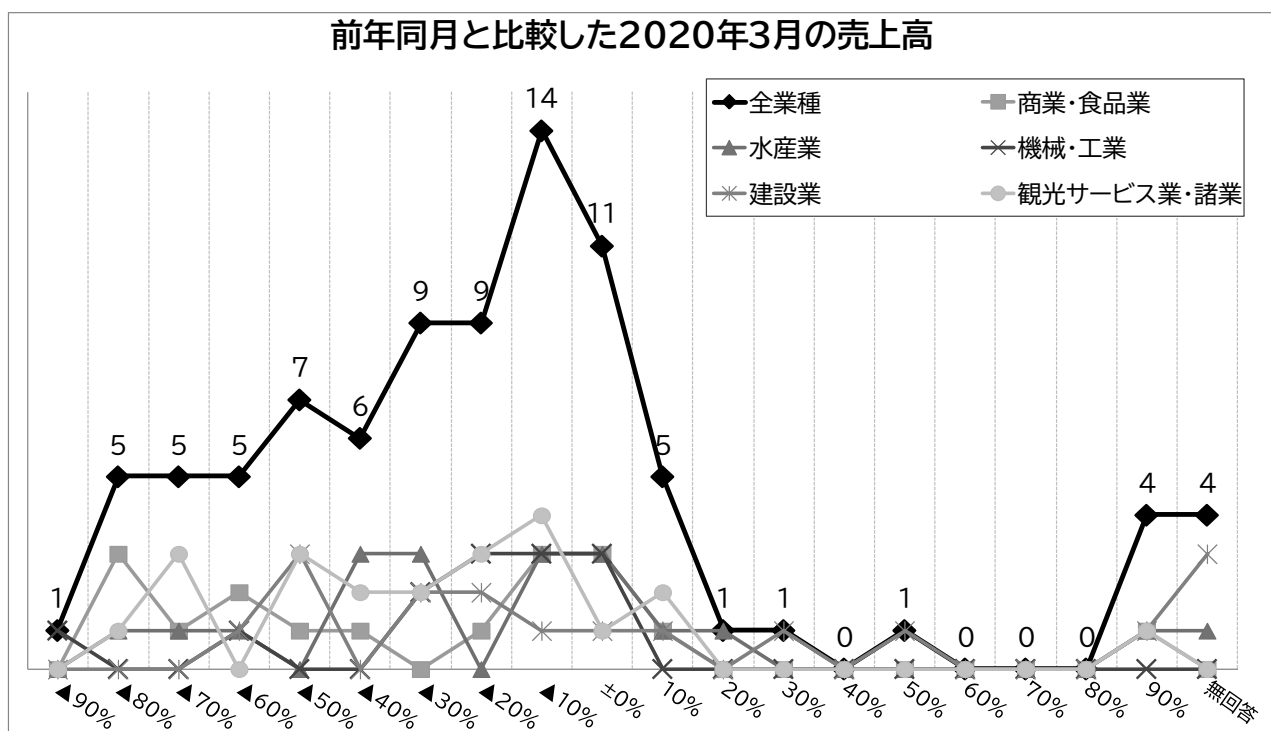
【観光サービス業諸業】



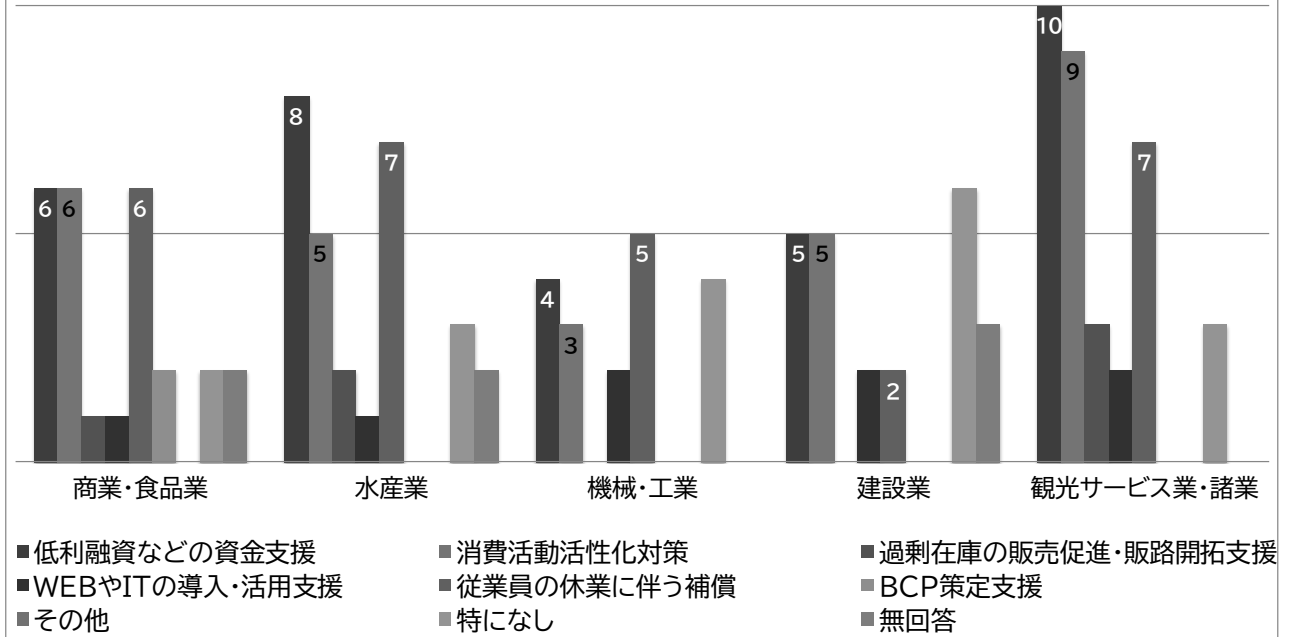
業種別にみると、**商業・食品業**では「製品・サービスの受注・売上減少（28.1%）」と「消費マインドの悪化に伴う客数減少（28.1%）」がもっとも多く、**水産業**は「製品・サービスの受注・売上減少（27.3%）」「国内外への出張の中止、延期による業務の停滞（15.9%）」、**機械工業**は同様に「製品・サービスの受注・売上減少（35.0%）」が突出して多くなっています。**建設業**は「材料（海外製）の入手難による作業の停滞（30.3%）」、「消費マインドの悪化に伴う客数減少（12.1%）」「従業員・顧客の感染防止対策に伴うコスト増（12.1%）」、**観光サービス業・諸業**では「予約のキャンセルによる売上減少（21.3%）」、「消費マインドの悪化に伴う客数減少（19.7%）」となっています。

その他の意見として、「関連品の売上増（医薬品小売）」「発注済の製品がキャンセルになり届かない（食料・日用品小売）」「外食客の減少（飲食業）」といった声も寄せられています。

上記の影響を受ける中、前年同月（2019年3月）と比較した売り上げは、全業種では「▲10%」が最も多く、次いで「±0%」との回答が多い結果となりました。



行政や支援機関に期待する支援策（業種別）



【その他の意見】

- ・ 売上減少に対する補てん（小売業）
- ・ 迅速な政府の経済対策（水産加工業）
- ・ 中小企業への補助金の設定（飲食業）